

令和8年2月27日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン（第445号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. 農地を所有・貸借する法人としての義務をお忘れなく！
2. 3/11 公開フォーラム開催「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」
3. ゲタ対策の数量払交付単価が令和8年産から改定されます！
4. 「2025年農業技術10大ニュース」チラシを公表しました
5. ゲノム編集で長持ちメロン誕生
6. 経営所得安定対策等の概要をまとめたパンフレットを公表しました！
7. 経営マスターコース「アカウンティング(会計)」受講者募集中！

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. 農地を所有・貸借する法人としての義務をお忘れなく！】

農地所有適格法人をはじめ、農地を所有・貸借する法人は、農地法の規定により、毎事業年度の終了後から3か月以内に、農業委員会へ事業状況等の報告をすることが義務づけられています。

特に、農地所有適格法人が当該報告を怠った場合、30万円以下の過料に処される可能性があります。

事業年度終了後は、農業委員会への当該報告を毎年必ず行うよう御注意を！

◇ 農地の権利を持つ法人の報告義務についてはこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hozin_nouchi.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省経営局農地政策課（担当：農地調整グループ）

MAIL：hattenkeikaku@maff.go.jp

TEL：03-6744-2153（直通）

【2. 3/11 公開フォーラム開催「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構

築】

内閣府、農林水産省、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター（以下「生研支援センター」）は、「豊かな食」の実現に向けた研究プロジェクトの成果と社会実装への展望等に関する公開フォーラムを開催します。

講演では、大豆の多収栽培支援 AI や、下水汚泥・家畜排せつ物等の高機能堆肥化装置、新たな肥料成分回収技術、次世代の沖合養殖システム、個々人の体調等に応じた最適な食材を提案する食解析システム等の研究開発をご紹介するほか、パネルディスカッションも行います。

○ 日時：2026年3月11日(水曜日)13:00～17:45（12:30 受付開始）

○ 会場：鉄鋼カンファレンスルーム Room 3～6（東京都千代田区丸の内1丁目8番2号鉄鋼ビルディング 南館4階）

○ 形式：ハイブリッド形式(対面+Zoom ウェビナー)

○ 参加費：無料

○ 定員：会場参加 120名、オンライン配信 300名

◇ 申込ページはこちら（イベント・コミュニティプラットフォーム「Peatix」）（申込期間：3月6日（金）まで）

→ <https://sip3rd-0311.peatix.com>

◇ 詳しくはこちら（生研支援センターWeb）

→ <https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/sip/sip3/news/2025/173883.html>

◇ お問い合わせ先

生研支援センター SIP3「豊かな食」事務局

MAIL：sh-SIP3rd-jimu@naro.go.jp

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：鈴木、矢部）

TEL：03-3501-4609（直通）

【3. ゲタ対策の数量払交付単価が令和8年産から改定されます！】

我が国の小麦、大豆などの畑作物は輸入依存度が高く、食料安全保障の面からこれらの生産の増大を図っていくことが不可欠です。このため、農業の担い手に対する経営安定のための交付金の交付に関する法律（担い手経営安定法）に基づき、諸外国との生産条件の格差により不利がある畑作物を対象に、「標準的な生産費」と「標準的な販売価格」の差額を交付する畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）を措置することとしています。

このゲタ対策はこれまで、3年に1度単価を改定してきており、令和8年産からの数量払交付単価が改定されました。

具体的な改定単価については、以下のサイトをご確認ください。

◇ 改定単価についてはこちら（農林水産省「経営所得安定対策」HP）

→ https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/antei/keiei_antei.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省農産局穀物課経営安定対策室（担当：経営安定対策第3班）

TEL：03-6744-2147（直通）

【4. 「2025年農業技術10大ニュース」チラシを公表しました】

農林水産技術会議事務局では、農林水産分野における1年間の研究成果の中から、その内容および社会的関心の高さに基づき、農業技術クラブ（農業関係専門紙・誌など30社）の会員投票により「農業技術10大ニュース」を毎年選定しています。

このたび、2025年に選定された10の技術を1枚にまとめたチラシを作成しました。

研究成果を幅広く知っていただける内容となっておりますので、ぜひご覧ください！

◇ プレスリリースはこちら（農林水産省「農林水産技術会議」HP）

→ <https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/251219.html>

◇ 2025年農業技術10大ニュースの詳細はこちら（農林水産省「農林水産技術会議」HP）

→ <https://www.affrc.maff.go.jp/docs/10topics.htm>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【5. ゲノム編集で長持ちメロン誕生】

メロンは収穫後に急速に熟するため、日持ちが短く、食品廃棄の要因となるほか、長距離輸送や海外輸出には不向きとされてきました。国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」）は、筑波大学およびサナテックライフサイエンス株式会社と共同で、農研機構等が開発した独自のゲノム編集技術「in planta Particle Bombardment (iPB)法」をメロンに適用し、果実の熟成に関わる遺伝子を不活化することで、

日持ち性が良く、食べ頃を調整できるマスクメロンの作出に成功しました。本成果により、国内の遠隔地への流通や海上輸送による海外への低コスト輸出が可能となり、メロンの国内消費の増加や海外展開の活性化につながることを期待されます。

◇ プレスリリースはこちら（農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nias/173790.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【6. 経営所得安定対策等の概要をまとめたパンフレットを公表しました！】

『経営所得安定対策等の概要』の令和8年度版を公表しました。

諸外国との生産条件の格差から生ずる不利を補正する交付金（ゲタ対策）や、農業者の抛出を前提とした農業経営のセーフティネット対策（ナラシ対策）のほか、麦、大豆、米粉用米等の戦略作物の本作化や水田の畑地化を推進する水田活用の直接支払交付金等や収入保険制度など、米・麦、大豆等を生産する農業者の皆様にご活用頂いている各種支援策の概要を掲載しています。

ぜひ、皆様の農業経営の安定のためにお役立て下さい。

◇ 詳しくはこちら（農林水産省「経営所得安定対策」HP）

→ https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/antei/keiei_antei.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省農産局穀物課経営安定対策室（推進指導班）

TEL：03-6744-0502（直通）

【7. 経営マスターコース「アカウンティング(会計)」受講者募集中！】

一般社団法人アグリフューチャージャパンが運営する AFJ 日本農業経営大学校では、日本の農業の未来を担う経営者から若手農業者まで、すべての農業者のためのオンラインスク

ールを開設しています。

今回ご紹介する講座「アカウンティング(会計)」は、農業経営者・幹部層にとって不可欠な財務会計・管理会計の基礎知識のほか、それらを用いた意思決定手法について取り扱うオンライン講座です。

財務諸表は単なる過去の記録ではなく、農業ビジネスを成功に導く羅針盤です。講座の前半では、PL や BS といった財務諸表の読み方に加え、それらが示す経営の実態を把握し、より収益性の高いビジネスモデルを設計するための思考法を習得します。

講座の後半は管理会計を活用した、儲けの見える化を通じ、利益を生み出す仕組みの検討や磨き上げを実施。

農業経営特有の課題に焦点を当てた本講座のカリキュラム、講師による伴走支援、そして同じ課題を抱える農業経営者との交流を通じ、儲かる経営の方程式を学びます。

■ アカウンティング(会計) (オンライン講義)

2026年6月9日(火)～9月15日(火) 19:00～ (全7回+個別フォロー付き)

○ 受講料：66,000円(税込)

○ 定員：20名(先着順)

○ 申込方法：2026年5月21日(木) 17:00までに下記よりお申し込みください。

◇ お申込み・講座の詳細はこちら ((一社) アグリフューチャージャパン「AFJ 日本農業経営大学校」HP)

→ <https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/accounting/>

◇ お問い合わせ先

AFJ 日本農業経営大学校 オンラインスクール事務局

MAIL : application-online@afj.or.jp

TEL : 03-5781-3750

◆◆◆編集後記◆◆◆

徐々に気温が上がり、春の息吹が感じられる頃になりましたが、先日、春の趣を求めて近所の梅園を散策してみました。満開の梅の花は強風で散り始めていましたが、当日は関東地方で2年ぶりに春一番が観測された日とのことでした。これから農作業が本格化していく時期ですが、春は風の季節でもあります。農作業の安全に加え、施設の管理等にも御留意いただければと思います。

■ 経営局公式 Facebook ページ「農水省・農業経営者 net」

→ <https://www.facebook.com/nogyokeiei>

■ ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/180817.html>

■ リンク URL の一部に PDF 形式のものがあります

メールマガジンに記載した URL で、一部 PDF 形式のものがあります。PDF ファイルをご覧いただくためには、農林水産省ホームページ「3 PDF ファイルについて」をご覧になり、「GetAdobeReader」のアイコンで AdobeReader をダウンロードしてください。

→ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>



○ 電子出版：農業担い手メールマガジン

○ 発行日：毎月1回発行

○ 発行元：農林水産省経営局経営政策課 担当：大庭

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ https://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyou/hyousyou_merumaga.html

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

